

○ 横浜国立大学 国際社会科学府
論文博士 学位論文評価基準

1. 学位論文に係る評価基準

以下のいずれかの水準を充たすこと

- ・ 当該論文の内容の一部が、国内外で評価が高い審査制の学術専門誌に論文として掲載されている、あるいは、投稿され受理が決定していること
- ・ 当該論文の内容の一部が、高い評価を得ており、その内容を含む論文が、国内外で評価が高い審査制学術専門誌に受理される可能性が高いと認められること、もしくは、高度な専門的価値を有する学術研究書として出版可能であること
- ・ 当該論文が上記に準ずる内容であり、当該研究分野における重要な貢献が認められること

2. 審査委員の体制

- ・ 主査1名を含む審査委員5名

3. 審査の方法

- ・ 博士号取得のためには、博士請求論文審査に合格しなければならない。
- ・ 博士請求論文審査を受けるためには、事前に予備審査に合格する必要がある。
- ・ 博士請求論文審査は、論文審査と口頭試問によって行う。

○横浜国立大学 理工学府

論文博士 学位論文評価基準

1. 学位論文／ポートフォリオ評価基準

1. 研究課題設定が、専門分野の科学技術水準に照らして適切であり、意義があること
2. 研究課題解決のための方法論が、専門分野の科学技術水準に照らして適切であり、意義があること
3. 博士論文の構成と展開が論理的であり、得られた成果は独創的で、学術上および実用上の意義と普遍的な価値があること

2. 審査委員の体制

主査を含め、専門分野の教員 5 人以上で構成する。

3. 審査の方法

- ・論文博士の審査にあつては、学位論文審査及び学力の確認を行い評価判定する。
- ・学力の確認は、当該研究分野に関し、博士論文等に関連のある分野の科目及び外国語（自国語以外の 1 ヶ国語）について筆記又は口頭により行うものとする。ただし、理工学府博士課程後期に 3 年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で退学した者のうち、理工学府博士課程前期又は博士課程後期在学中に外国語（自国語以外の 1 ヶ国語）を履修しその試験に合格した者については外国語の学力の確認を免除する。

○横浜国立大学 環境情報学府

論文博士 学位論文評価基準

1. 学位論文に係る評価基準

以下の4つの観点に加えて、博士論文の一部が国内外の審査制の学術専門誌に掲載を認められていることを要件とする。

- ・当該研究領域における関連研究の現状や研究テーマに関連する専門知識を十分理解していること。
- ・課題の設定およびそれを解決するための方法論の選択や、仮説構築・検証方法などが妥当であること。
- ・関連研究と比較して、新規性があり、当該分野の発展や新規研究分野の開設につながる独創的な研究成果が得られていること。
- ・上記3点を第三者が適切に評価できるように論文が構成されており、適切に表現されていること。

2. 審査委員の体制

- ・審査委員会は5人以上の審査委員により構成する。
- ・審査委員会に主査を置き、研究指導と教育を担当する教員をもって充てる。

3. 審査の方法

- ・論文博士の学位を申請することのできる者は、本学大学院博士課程を修了した者と同等以上の学力を有する者とする。
- ・学位論文審査及び学力の確認により評価判定を行う。
- ・審査委員会は学位論文の審査に当たり、学位論文提出者に論文の内容について公開で発表させるものとする。
- ・学力の確認は、当該研究分野に関し、学位論文等に関連のある分野の科目及び外国語(1ヶ国語)について筆記又は口頭により行うものとする。

○横浜国立大学 都市イノベーション学府
論文博士 学位論文評価基準

1. 学位論文に係る評価基準

博士（工学）

- ・研究課題が、先行研究を踏まえて適切に設定されていること。
- ・当該分野における新規性あるいは独創性がある研究成果が得られていること。
- ・当該分野の学術研究の発展に寄与する十分な水準を備えていること。
- ・構成と記述が適切であり、論理的であること。

博士（学術）

- ・当該研究領域における関連研究の現状や研究テーマに関連する専門知識を理解していること。
- ・関連研究と比較して、新規性あるいは独創性があり、当該分野の発展に貢献する研究成果が得られていること。
- ・課題の設定及びそれを解決するための方法論の選択や、仮説構築・検証方法などが妥当であること。
- ・構成と記述が適切であり、論理的であること。

2. 審査委員の体制

- ・主査 1 名及び副査 4 名以上で審査委員会は構成される。

3. 審査の方法

- ・論文審査及び学力の確認により、上記に示す学位論文の評価基準に基づいて評価判定を行う。
- ・主査と副査により論文審査を行い、学位論文に関連のある専攻分野の科目及び外国語について学力の確認を行う。